



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-7-23
足立区役所 電話3880-5111 (内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770

<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

八月六日は広島に、
九日は長崎に原爆が投
下されて六十三年目を
迎えました。世界には
今なお約二万七千発の



平和の声を

足立から

広島 長崎原爆投下 終戦記念日の暑い夏



核兵器が蓄積され、核保有国大
アメリカは実際に使うための技術
及び戦略の準備を進めています。
日本には二十五万人を超える被
爆者(被爆者手帳保持者)がいま
す。足立区には約二百人。しかし、

「原爆症」と認定している人は一
%以下です。
足立区議会では、二〇〇七年の
議会で「原爆症認定制度の抜本的
な改善を求める意見書」が全会一
致で可決されました。日本共産党

区議団は他会派とともに採
択を求め実現しました。
**原爆症を裁く
裁判で国が九連
敗**

今年六月三日には長崎
地裁で原爆症認定に関す
る判決が原告勝訴となり、
国が九連敗となりました。
足立区在住の被爆者も新
たに認定されましたが、
全員認定させるたがかい
と、そして核兵器廃絶ま
でがんばっています。

暑い夏、平和の誓い を新たに

七月二四日の猛暑の中で区内で
も平和行進が行われ、二百人のパ
レードしました。

東京墨田区生まれの私・伊藤和
彦も平和の誓いを新たにしました。
六十三年前、東京大空襲のなか家
族とともに逃げ、多くの親戚を亡
くしたことを後になって聞きまし
た。

五月に北海道をスタートした国
民平和大行進は平和・核廃絶への
願いを訴えて各地を回り二四日ゴ
ール地点の上野・東照宮寛永寺に到
着しました。通して歩いた区内在



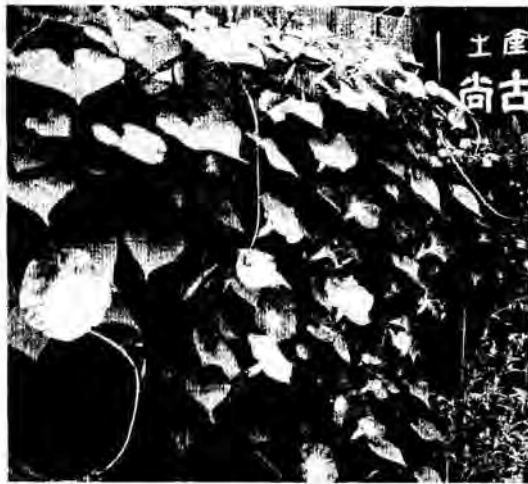
平和行進に参加した日本共産党足立区議団
(7月24日)集会で挨拶する大島よしえ区議・
都政対策責任者(左)

住の森悦子さんも元気に挨拶しま
した。

足立区の「平和と安全
宣言」には非核の願
いが込められています

二〇〇七年十月三日の決算委員
会で日本共産党・大島議員の質疑
を2面で紹介します。





二〇〇七年十月三日・区議
会決算委員会・議事録より

時の鈴木区長に質問をしたんですね。

当時、総務部長だった角田……いま副区長ですけれども、

答弁に立ちまして、人間の安全

○大島芳江委員 最後になんてすけれども、平和でなければ安心して子育てもできないということ、平成十四年十月一日に足立区が宣言した平和と安全の都市宣言というのについて聞きたいと思

ます。保障という考え方は、人間の安全を脅かす一切の脅威から各個人を守ろうという考えに立ったもので、そうした一切のものを包摂した考え方であると、その認識を答弁します。

この宣言をしたときに、私たちは代表質問で、この宣言の中には、日本国民として当然の非核の願い、核兵器廃絶とか、核の拡散とか、

区長がかわりましたけれども、この時点でこの考え方について再度聞きたいんですけども、この考えはいまも変わっていないか。

この願いが込められているのかと当

つまりこの足立区の平和と安全の都市宣言には、平和の願い、これが込められていると考えていい

か、お聞きしたいと思

います。

○角田副区長 平和と

安全の都市宣言は、いまご案内がありました。区制七〇周年記念として平成十四年六月に、区議会の平和と安全の都市宣言に関する決議、この区議会の決議を受けて十月に宣言されたものでございまして、その決議の中で

「少年工科学校」にびっくり!



「伊藤さん、こんなこと知ってましたか? 20倍超える難関の学校だそうです。月給15万円の親孝行の子どもたち、TBSの報道番組を何気なくみて、驚きました」と、7月にM元校長先生から手紙と問い合わせがありました。

「少年工科学校」という自衛隊の学校で……

M元先生は「報道番組を見て

15歳から18歳の生徒が全寮制で在学し、迷彩服で身を固めた生徒たちが本物の小銃を持って軍事訓練をする場面が映し出され、正に少年自衛隊です。驚きました。そして身分は3等陸士で月給は15万円。呼称は学校でも実態は徴兵制同様の自衛隊です。もちろん税金を使っている。「大家族で高校進学はできないから本校を志願した」「地震で倒壊した実家を再建するために少しでも親孝行になれば」と、生徒たちの親思いの言葉を紹介していた。「国民の知らないうちに軍備だけが先行しているような気がする」と話しました。

普通高校と同じ資格を与えるところが文部科学省との関係、自衛隊法の位置付け、生

徒募集の方法など調査することにしました。

平和にとつて重大問題と一貫して追及した日本共産党

私は早速、党国會議員団に問い合わせたところ、議事録が届き昭和39年3月の予算委員会でも岩間正男議員がこの問題を取り上げて以来、中路、東中、上田耕一郎、安武洋子議員が「少年工科学校」の存在は憲法からみて違反であると厳しく追及していました。

資料はM元先生に持参しました。「さすが共産党だ。こういう問題は日本共産党でなければできないこと」と話し、改めて党の調査力、一貫性を学びました。 伊藤 和彦

も、人間の安全保障の考え方に立っ

非核への願いとか、平和への願い、

が強うございますけれども、私たちが直接経験を語ってもらった、そのことをいかに次の世代にきちっと伝えていけるかという使命もあるかと思

て、いまご案内がございましたよ

○近藤区長 以前にもブログに書

きましたように、私の母の世代、親の世代というのが疎開をした最後の世代、私の母は東京都出身で

うな内容に沿った形でということ

でございますので、議会の総意を

受けた形で十月に宣言したものでございまして、依然として変わら

ない考え方でございます。

○大島委員 非核の願いが込めら

れていて、大空襲の中を逃げ惑ったというような直接の思い

かと思

います。区長がかわら

るので、区長の非核の思いとか、

度と繰り返したくないという思い

した。

○大島委員 ありがとうございます。【終了】